

Y13b 「長野県は宇宙県」サマー・スタンプラリー・イベントについて

衣笠健三, 縣秀彦, 堀内貴史 (国立天文台)、川村晶 (星の手帖社)、他「長野県は宇宙県」連絡協議会メンバー

2016年11月に開かれた第一回「長野県は宇宙県」ミーティングでの「松本宣言」より長野県下の関連施設・団体等で形成された任意団体「長野県は宇宙県」連絡協議会(事務局:国立天文台野辺山宇宙電波観測所)は、その第一弾企画として、2017年夏において、県内約50の施設や天文イベントをつないだ『「長野県は宇宙県」サマー・スタンプラリー・イベント』を実施した。これは、長野県下に限らず広く一般市民や子どもたちの興味・関心を喚起し、県内における天文・宇宙関連のさまざまな活動や星空環境を広く周知することを目的としたものである。

実施期間は2017年7月22日(土)~8月31日の41日間で、夏休み期間とあわせたものであり、JRと長野県を中心に実施した「信州デスティネーションキャンペーン」と連動した企画のひとつとなった。

イベントに先立って、5月18日~6月29日の43日間においてクラウドファンディングにて実施資金の寄付を募った。また、専用口座においても、個人、企業、団体から寄付金や協賛金を申し受けることもできた。イベント実施にあたっては、メディア等に広く広報をし、上田創造館などにて開催初日にキックオフイベントを実施するといった活動も行った。ただし、この期間は、例年に比べても雨や曇りなどの天候が多く、企画していたイベントの多くは実施することができなかった。最終的な参加人数は、スタンプラリーに使ったシートの残数からの推計ではあるが、およそ16500名となった。また、スタンプラリーの景品についてはおよそ4000名の方々に届いたと思われる。

本講演では、このイベントとともに、「長野県は宇宙県」関連の他の動きについてもあわせて紹介したい。